

教育と文化



子どもたちの個性に合った進路の選択を

男女協働参画には、幼い頃からの

意識づくりが重要です

● 問合先 企画政策課

男女協働推進係(☎2115)

孫が今年、小学校に入學しました。ランドセルを買ってあげようと店に行くと、カラフルなランドセルが売ってありました。自分たちのときや子どものときは、男子は黒、女子は赤のランドセルだったのに。今は、男女関係なくいろいろな色のものが売れているということでした。

孫の授業参観に行くと、出席の丸を付ける児童の名簿が置いてありました。名簿は男子と女子を分けず、50音順に書いてある混合名簿でした。自分たちのときは、男子と女子が分かれていたのに。学校は、男子と女子を意識して区別していないのかと思い、少し調べてみました。

自分の小学校時代にあつた、級長や副級長、児童会長などはなく、学級のことには直や係・当番活動でしているとのことでした。また、席も男子の列・女子の列ではなくて、混ぜてありました。

子どもが履く上履き(シューズ)も、男子は青、女子は赤ではなく、女子も青を履いたり、黄色やピンクを男女別なく履いたりしていました。

自分や自分の子どもたちの小学校時代である50年前や30年前とすると、今の学校は固定的な性別役割分担意識はなく、「男だから」「女だから」と特別扱いをしていないのだなど感じました。そう思えば、近所の子どもたちが、男女仲良く登下校をしている姿が思い浮かびました。

第4次伊万里市男女協働参画基本計画の成果目標の一つに、『学校教育の場』で『男女平等』と考える市民の割合を2022年度までに75%にすることが掲げられています。

男女協働参画社会の形成には、幼い頃からの意識づくりが重要です。

子どもたちに男女平等の大切さを教え、個性に合った進路選択などを支援しましょう。

郷土の文化財

伊万里の城館跡シリーズ⑫

● 問合先 生涯学習課文化財係(☎3186)

牧島城塞跡

牧島地区の瀬戸町には、二つの城塞跡(文献史料には記載がないが、城郭遺構が確認されている中世の遺跡)が残されています。

一つは瀬戸町字五分ヶ谷に所在し、牧島山から北に延びる尾根山に立地しています。現在は、金比羅宮を中心にして、南北に派生する尾根筋に曲輪群が残されており、曲輪を区画する堀切なども確認されています。特に、金比羅宮とその南隣の曲輪との境にある堀切は、中央部分を土橋状に残すなど敵方の進行阻止と味方の通路の機能が見て取れます。

もう一つは瀬戸町字椎岩に所在し、牧島山の山頂に立地します。こちらは山頂を中心として、南北の尾根に沿って小規模な曲輪群が展開されていたと思われるま

すが、後世の造成のため、遺構の保存状況は良くありません。

五分ヶ谷に所在する城塞跡は見学に適しています(漁港地区から沿岸沿いの道路を南下)が、椎岩所在の城塞跡は道路幅が狭く、舗装やガードレールのない場所が多いので、見学には適していません。



↑ 金比羅宮の鳥居